

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	ピノキオ幼児舎 荻窪保育園
法人名	株式会社ピノコーポレーション
法人所在地	東京都杉並区高円寺南4-26-16 ビクトリア

1. 活動のテーマ

<テーマ>

- ・手紙のやりとりから思いを「伝える」という事はどのようなことかを興味を持ち探求する。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

クラスに手作りのポストを置くことで、クラス内の友達同士での手紙のやりとりが始まり、次第に他クラスの友達や保育者などにも手紙を出すことを楽しみ始めた。手紙の配布は当番活動の一環として盛り込み行っていた。手紙を届けた時の相手の反応、手紙を自分自身がもらった時の喜びから「手紙」や「気持ちを伝えること」への意欲、興味が広がっていたことから、さらにそれらを広げる活動としてテーマ設定を行った。

2. 活動スケジュール

- ①6月～ 園内の手紙ごっこが始まる。散歩中にポストを発見するゲームを行う。
- ②9月～ 敬老の日に祖父母にお手紙を書く。どのような手紙を書くかを考える。手紙のやりとりを楽しむ。
- ③10月 手作りはがきを作って送る。紙すきを使いはがきサイズの紙を作る。実際に祖父母に送る。
- ④12月 年賀状を書く。手紙には用途があることを知る。(時候のものなど)
- ⑤1月 子ども達からの提案でプレゼントをくれたサンタにお礼状とクッキーのお返しをする。
- ⑥2月 郵便局に行き、手紙を配るまでの流れを見学させてもらう。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・手紙ごっこ用の便箋、封筒、切手を用意
- ・手作りのハガキが出来るようにはがきづくりのキッドを用意
- ・色鉛筆・シール・ペンなどはがきをデザインする筆記用具を用意
- ・自分達で年賀状を作成するため、プリンターを購入。
- ・郵便局への訪問のためアポイント

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①手紙ごっこでは、便箋・封筒・切手を用意して、本格的な手紙としてのやり取りを行えるようにした。
- ②祖父母との手紙のやりとりの時に返信用の封筒を同封し保育園に返信を送る用に依頼した。
- ③年賀状ではプリンターを使い、干支の絵と自分の写真を印刷をしてはがきが出来上がる流れを知るようにした。
- ④散歩の時すれ違う郵便配達員に目を向けるようにし、実際に郵便局へ見学に行く。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・祖父母との手紙のやり取りで手紙が帰って来ることをとても喜んでいた。「おばあちゃんたち、私がここ（保育園）にいること知っているんだ」と、手紙を出すために住所が必要なことにも気付く声があった。また、返信された手紙を見て、様々なもの（内容、書き方）があることにも気付き、「どうしてもっと喜んでもらえるものが書けるか」を考え、手紙にイラストを加えたり、シールを張るなどデコレーションを凝るようになった。
- ・クリスマス会でサンタが来園しプレゼントをくれたので、「サンタさんにお返しがしたい」と子どもから提案があった。クッキングも交えて手作りクッキーと手紙を添えてお礼状を作った。クッキー作りの時にはサンタさんに喜んでもらおうと気持ちを込めて作る姿があった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

手紙で気持ちを伝えることに対して、子ども達が文字に興味を持つだけでなく、相手に思いを伝えることへの大切さや喜びを感じている様子がうかがえた。また「誰かに喜んでもらいたい」という思いやりの気持ちを子ども達の中に育むことができ良かった。今後も手紙こだわらずとも相手を思いやす気持ち、気持ちを伝える大切さを保育の中で伝えていけるようにしたい。